

国民健康保険税率等改定計画(案)に対する意見募集結果

1 意見募集の方法

(1) 実施期間 令和7年9月18日から10月8日まで

(2) 閲覧方法 HP

市役所、北市民プラザ、南市民プラザ、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ、中央図書館、公民館

2 意見募集の結果

提出件数 6件(2名)

No.	意見	市の考え方	計画への反映
1	国民健康保険税のこれ以上の市民負担増には反対です。	計画案でお示ししたとおり、赤字繰入金の状況と将来の保険税水準統一への対応から一定の改定は避けられない状況にあります。被保険者の負担が抑えられるよう、引き続き国や都に対し公費負担の拡充を要望してまいります。	
2	国立市国民健康保険運営協議会が示した「付帯意見」の全項目について、国や都に対して強く対して強く働きかけ、制度の再度の見直しを実施してください。	付帯意見を尊重して、市長会や課長会を通して国や都に働きかけを行ってまいります。	
3	国によって再度の改定が行われることを期待して、改定は先送りしてください。	現状方針が示されている以上は、その内容に沿い将来を見越した対応を行っていく必要があると考えます。今後国の方針が変更された場合は速やかに対応してまいります。	

No.	意見	市の考え方	計画への反映
4	・ 5 ページ 令和 7 年（2025）年度 医療分税率等 について 23 区（特別区）と比較は一見まともに見えますが、東京都と特別区の間では、特別区財政調整交付金制度があり、手厚い財源のもと、各区が競うように〇〇費無償化を行ったりしています。比較として妥当ではない、とまでは言いませんが、単に金額だけを調べてグラフ化するのではなく、赤字繰入金なども比較して見せただけると特別区や他の多摩の市町村がどれだけ一般会計から補填しているかわかり、いろいろ参考になると思います。ぜひ、公表の際にはお示してください。	手元に数値を持ち合わせている東京都多摩 26 市との赤字繰入金の比較資料を計画に追加することといたします。	○
5	・ その他の意見 1 国立市は比較的コンパクトな都市で、住心地を気に入っています。国立市として身の丈にあった市政運営、財政運営をしているものと思います。毎年少ない財源の中、一般会計から赤字繰入金で補填し、ご苦労されていると思います。しかしながら、国保の制度は命に関わる制度です。効率や赤字だから増額するという単純なものではありません。国においては高額療養費の値上げが検討されており、私たちの命はお金という尺度で狙われています。都道府県単位での保険料の統一という方針はあるものの、国立市として反旗を翻すとか、独自の路線が踏めるよう、いま一度よく考えてください。	国民皆保険制度の最後の砦として国保が持つ役割を踏まえ、制度の適切性や持続可能性について常に研究を進め、必要に応じて国に意見してまいります。	

No.	意見	市の考え方	計画 への 反映
6	・その他の意見 2 上記において国保の制度は命に関わる制度と書かせていただきました。憲法に示される生存権に関わる問題です。そんな中、慶応大学の井手教授が提唱している「ベーシックサービス」という考え方があります。国民にとってベーシックな事柄（健康保険、障害者保障、介護保険、教育等）について、自己負担なく国が全額負担する制度です。国政の政党もマニフェストの中に入れているところもあります。ぜひ、このベーシックサービスの導入を国に働きかけを国立市として行ってください。健康保険等が無償になり、教育も無償になっていれば、例えばお父さんが病気で倒れて働けなくなっても、費用を心配しないで医療にかかれる、子供も進学を諦めなくても良くなります。壊すことしかできない防衛費に湯水のごとく税金を使うのではなく、繰り返しになりますが、日々生きていくための国保などの無償化を国立市として国へ要望してください。よろしくお願いします。	国保のみならず市の施策の制度設計を行う際の視点として、参考とさせていただきます。	